



コミュニティ・スクールだより

令和7年9月30日

令和7年度第3回目の協議会を開催しました

9月8日（月）に、第3回学校運営協議会を開催しました。今回は主に、7月に実施した「学校評価アンケート」結果、校内で実施した自己評価委員会で作成した「重点目標達成に迫るための具体的な手立て」について、熟議していただきました。

《第3回学校運営協議会 式次第》

- 1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 議長の選出 4 前回会議録確認 5 熟議
 - (1) 学校評価と課題の改善策について
 - 〈報告〉学校評価結果と課題の改善策について
 - ※報告の資料は、本校HP「学校づくり→コミュニティ・スクール」を御覧ください。）
 - (2) 支援活動の具体化について
- 6 学校支援コーディネーターからの活動報告 7 連絡

《熟議》

☐ 学校運営協議会委員

☐ 学校職員

- (1) 学校評価と課題の改善策について
 - 〈報告〉学校評価結果と課題の改善策について



7月に行った学校評価の結果を基に、自己評価委員会を行い、2学期以降に取り組む具体的な手立てを作成しました。内容について熟議をお願いします。

（資料は、本校ホームページに掲載されています。）

資料に目を通すと、学校へ様々なことを求めすぎているように感じます。学校に求める前に、家庭では自分たちでできることを行っているのか疑問に思います。学校は、もっと方向性を発信して、学校でどんな取り組みを行っているか家庭に知らせていくとよいと思います。また、家庭でやってほしいことをもっと発信してはどうでしょうか。



どのくらいのことができたらいいか分からない保護者もいます。今後もグランドデザインの周知を進めていく中で、学校での取り組みがもっと保護者に伝わると、保護者も評価の判断がしやすくなるのではないのでしょうか。

家庭ですべきことを学校に求めているのではないのでしょうか。核家族が増えて親子の関係も希薄になっています。学校が発信してもそれを受け止めることが難しいように感じます。

受け止めることが難しいということは自分自身もそうだと感じています。その上で、そのような親世代にも響くようにするにはどうしたらいいのかを、一緒に考えてほしいと思います。

学校での取り組みが保護者の皆さんに伝わるように、学校便りや学年便りを活用しています。今年から、懇談会でも「目指す子供の姿」について取り上げ、話題の一つとして扱っています。

今回は、「重点目標達成に迫るための具体的な手立て」について熟議していただくとともに、学校と家庭の役割や、教育活動の情報発信が話題の中心となりました。学校では、教育活動の方向性や現状について、学校便りや学年便り等を活用して情報発信しています。その情報発信が一方通行にならないよう、家庭からも御意見をいただきながら、今後も学校と家庭の役割、教育活動について一緒に考えていきたいと思っています。

なお、「重点目標達成に迫るための具体的な手立て」については本校 HP に掲載していますので、併せて御覧ください。



6 学校支援コーディネーターからの活動報告

- 認知症サポーター養成講座を行います。
- 毎月11日に行うあいさつ運動を今後も継続します。
- 5、6年生の家庭科で、ミシン補助ボランティアに来ていただくことになりました。
- 学校支援活動として、サッカークラブ、ミニバスケットクラブが夏休み中に花壇の水やりを行いました。今後は、草取りや砂ぼこり防止の散水も行う予定です。



9月24、25日の二日間、学校支援コーディネーターの活動により、6年生家庭科にミシンボランティアの皆さんが参加しました。

子供たちからは、「楽しかったよ。」
「ボランティアさんに手伝ってもらって上手にできた。」等の声が聞かれました。

次回の学校運営協議会は、2月12日（木）9：00から行います。傍聴できますので、御希望の方は、学校（452-3137）までお知らせください。